

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係 電話番号：058-272-1111(内3933)

E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 48,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	48,000	24,000	0	0	0	0	0	0	24,000
決定額	48,000	24,000	0	0	0	0	0	0	24,000

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

県内の観光は、令和 6 年の外国人宿泊者数が過去最高を大きく上回るなど好調に推移している一方で、飛騨高山や馬籠宿など特定の地域へ集中していることや、一人当たりの旅行消費単価が全国平均より低いことが課題となっている。これらの課題を解決するためには、県内全域への誘客や周遊滞在を促すことが必要がある。

そこで、地域の単発的な点での観光振興を支援するのではなく、ストーリーでつなぐ線や面での観光振興の取組を支援する。

（２）事業内容

【目的】

本県が誇る地域資源を、一貫したストーリーでつないだ観光を全県に渡って提供することで、観光客の一部地域への集中解消や県内での滞在延伸・消費拡大を促進する。

【対象事業】

全県的につなぐストーリーの一部を担い、観光客の集中解消や、滞在延伸・消費拡大に資する地域の取組を補助する。

＜全県的につなぐストーリー＞

- ①歴史（戦国・武将・武士道含）のストーリー
- ②自然・アウトドアのストーリー
- ③岐阜ならではの食のストーリー
- ④リニア開業を見据えたまちづくりストーリー
- ⑤ロケツーリズムのストーリー
- ⑥伝統産業・工芸のストーリー
- ⑦文化・スポーツのストーリー
- ⑧その他、広域連携による周遊ストーリー

【補助対象経費】

- ・事業実施に必要な経費
- ・ハード事業についても国交付金で可能な範囲で補助対象とする。
- ※ハード整備のみの申請も対象とする

【補助対象者】

①観光事業者 ②市町村 ③観光協会等 ④日本版DMO等 ⑤観光関係協議会 等

※申請要件

- ・データに基づいた戦略的な取組であることを証するものの添付必須
(例：観光統計やアンケート結果など、当該取組を行うべき根拠が分かる資料)
- ・補助事業について次年度以降の事業計画、スケジュールの作成が必要
- ・①③④及び⑤（市町村を構成員としない場合）は、事業計画等について市町村の推薦書が必要

（３）県負担・補助率の考え方**【補助率・補助限度額】**

○補助率 1/2以内 ○補助限度額：5,000千円

（４）類似事業の有無

無し

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	48,000	ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金
合計	48,000	

決定額の考え方**４ 参 考 事 項****（１）各種計画での位置づけ**

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

３ 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

（２）国・他県の状況

国の観光立国推進基本計画においても、複数地域間の広域連携等による魅力ある観光地域づくりの推進が提示されている。

（３）後年度の財政負担

観光客の一部地域への集中解消や県内での滞在延伸・消費拡大に資する取組を支援する必要があるため継続する。

県 単 独 補 助 金 事 業 評 価 調 書

■ 新 規 要 求 事 業

□ 継 続 要 求 事 業

(事業内容)

補助事業名	ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金
補助事業者（団体）	観光事業者、市町村、観光協会、観光地域づくり法人、又はそれらの者で構成する観光関係協議会等 (理由) 県内の周遊性、滞在時間、宿泊期間及び消費額を増加させる取組や、有識者を活用した地域資源の発掘や磨き上げの取組を対象とするため
補助事業の概要	(目的) 周遊滞在型観光の推進 (内容) 地域資源を活用した周遊滞在型観光の促進のための取組を支援
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1 / 2 以内 (理由)
補助効果	観光資源化に向けた地域資源の連携強化、周遊滞在型観光の促進
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 事業開始から3年後を目途に終期を設定

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 県内各地域にある地域資源を他の地域資源や観光資源と連携させる取組や、観光資源化に向けた取組を推進させることにより、本県における周遊滞在型観光の振興を図るとともに、滞在時間・宿泊日数の拡大、観光消費額の増大を図る。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①観光消費額		3,044億円	3,100億円	3,300億円	(R9) 3,600億円	84.6%
②観光入込客数 (実数)		4,365万人	4,800万人	4,900万人	(R9) 5,300万人	82.4%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	
令和4年度	
令和5年度	

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>周遊滞在型観光の振興を図るためには、県ではなく、地元市町村等が主体的に取り組むことが不可欠であるため、その取組を支援することは必要性が高い。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3: 期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)</p> <p>2: 期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)</p> <p>1: 期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%)</p> <p>0: ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている</p>	
(評価) 2	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光関係協議会等の財政基盤が脆弱となっているため、活動支援が不可欠と認める取組については、補助を継続することが必要。</p>

(次年度の方針)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>本補助金の支援により、地域資源間の連携が促進・強化され、周遊滞在型観光の推進に向けた取組が各地域で行われるようになってきており、引き続き支援を行っていく。</p> <p>また、これまでと同様に、広域性、新規性、戦略性及び複合性を有し、本補助金による事業効果が見込まれる取組を支援することとする。</p>
--